

リニア関連道路整備等に関する説明会 次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 関連施設の状況について
 - (1) 長野県駅周辺整備
 - (2) 座光寺スマート IC(仮称)
- 4 リニア関連道路整備について
 - (1) 国道 153 号 飯田北改良
 - (2) 長野県駅～座光寺スマート IC(仮称)の道路新設
- 5 質疑
- 6 閉会

国道153号 飯田北改良

国道153号 飯田北改良

リニア駅へのアクセス

広域交通・地域振興の拠点として、周辺地域からリニア駅へのアクセス性の向上を図ります。

渋滞の緩和

現在の交通渋滞を緩和します。

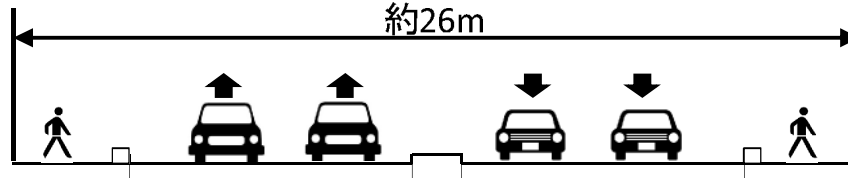
安全性の向上

現在の国道153号は十分な幅員が確保されておらず、歩道も狭いため、車両や歩行者等の安全性の向上を図ります。

P.1

標準部の幅員

約26m



設計速度 V=60km/h

曲線半径 R≥150m

縦断勾配 i≤5%

P.2

ルート選定時の評価項目

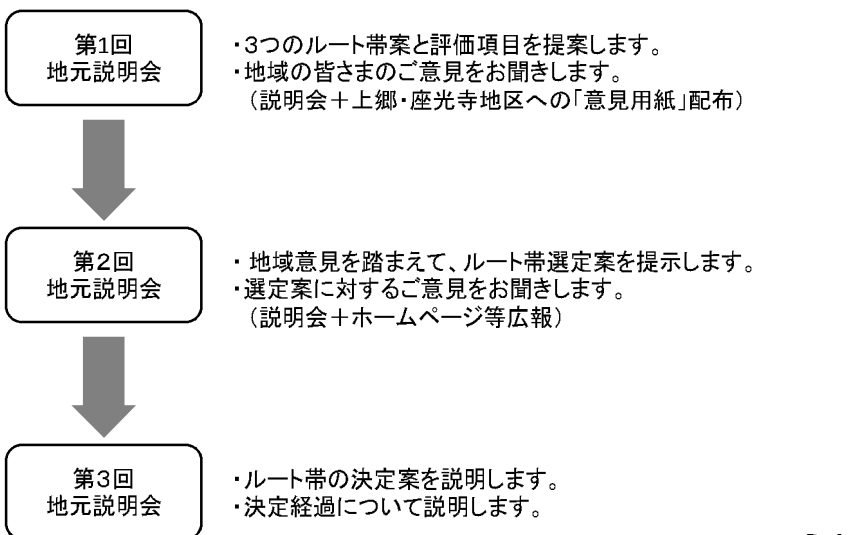
国道153号 飯田北改良

- 事業特性(目的達成度、費用、効果)
- 交通機能(ネットワーク、走行性、安全性)
- 沿道環境(沿線への影響、生活環境への影響、自然環境への影響)
- 飯田市のまちづくりとの整合

P.3

今後の予定

国道153号 飯田北改良



P.4

道路整備の目的

長野県駅～座光寺スマートIC(仮称)の道路新設

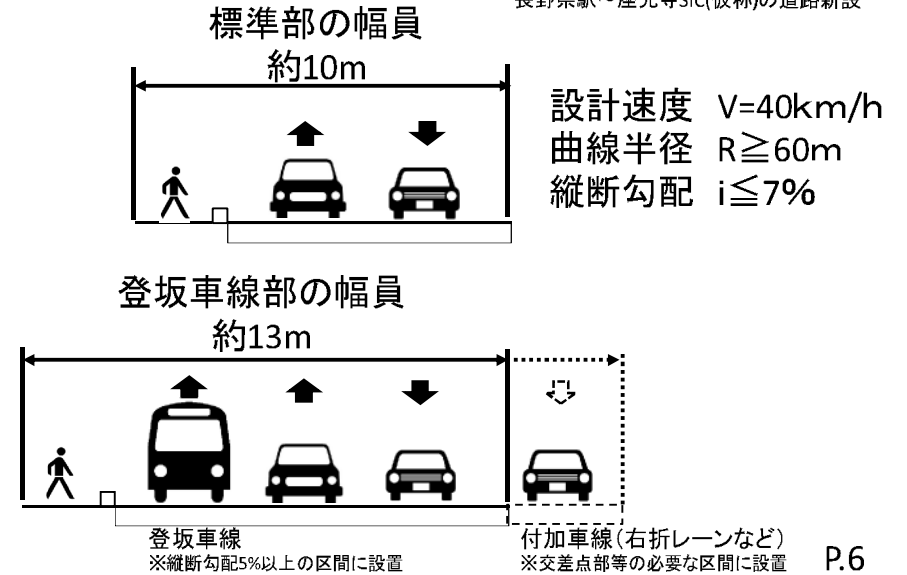
道路の規格

長野県駅～座光寺SIC(仮称)の道路新設

高速道路とリニアを一体化	リニアによる時間短縮効果を広範囲に波及させるため、高速道路と長野県駅の直結化を図ります。
速達性の確保	長野県駅とスマートICを短時間で結びアクセス性を高めるとともに、県道・フルーツライン・国道と接続することで地域利便性の向上を図ります。
定時性の確保	信号や踏切等による待ち時間や速度低下を減らし、定時性の確保を目指します。
安全性の確保	車両の安全な走行ができる道路勾配を取り入れ、安全性の確保を図ります。

P.5

長野県駅～座光寺SIC(仮称)の道路新設



P.6

ルート選定時の評価項目

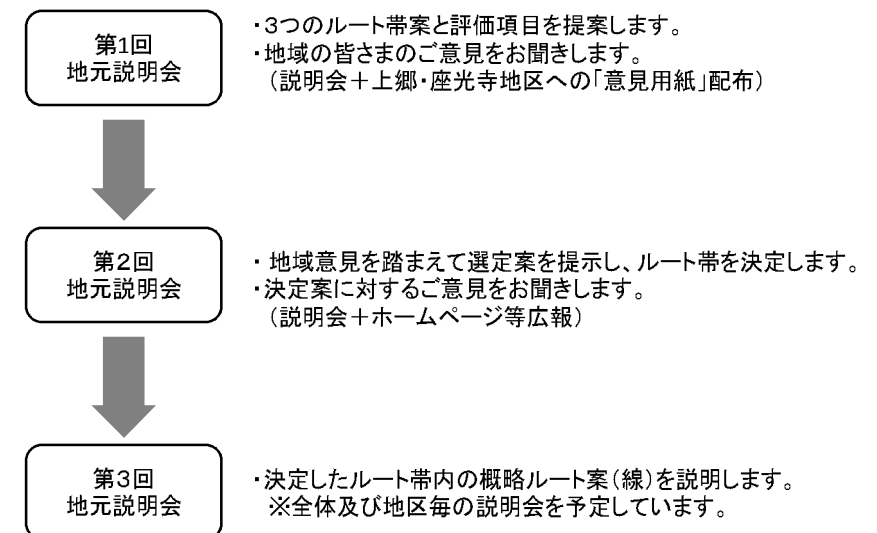
長野県駅～座光寺SIC(仮称)の道路新設

- 事業特性(目的達成度、費用、効果)
- 交通機能(ネットワーク、走行性、安全性)
- 沿道環境(生活環境への影響、自然環境への影響
史跡・文化財への影響)

P.7

今後の予定

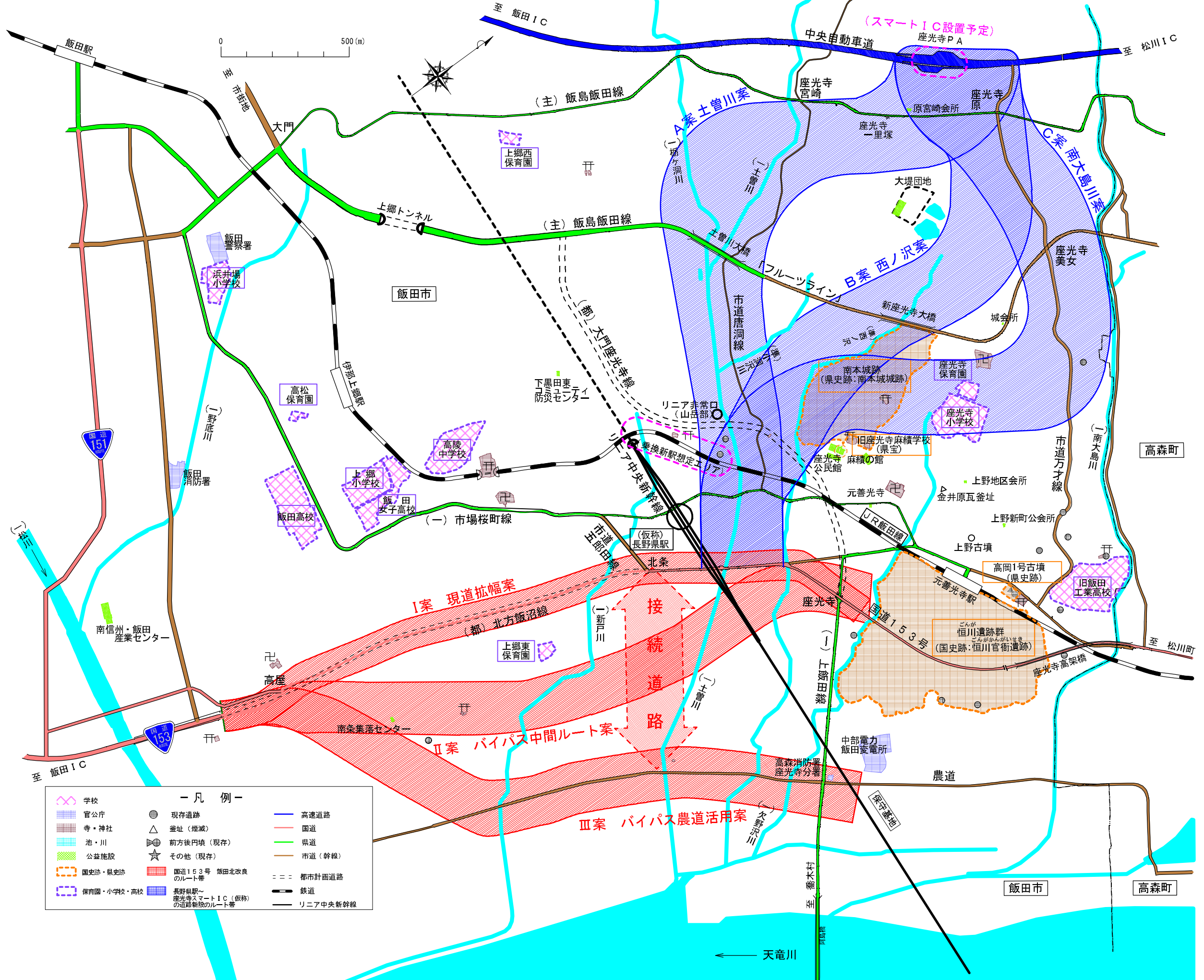
長野県駅～座光寺SIC(仮称)の道路新設



P.8

ルート帯平面図

赤帯：国道153号 飯田北改良のルート帯
 青帯：長野県駅～座光寺SIC(仮称)の道路新設のルート帯



— 凡例 —

	学校		現存遺跡		高速道路
	官公庁		釜址(埋滅)		国道
	寺・神社		前方後円墳(現存)		県道
	池・川		その他(現存)		市道(幹線)
	公益施設		その他(現存)		都市計画道路
	国史跡・県史跡		国道153号 飯田北改良のルート帯		鉄道
	保育園・小学校・高校		長野県駅～座光寺SIC(仮称)の道路新設のルート帯		リニア中央新幹線